

外国送金の ISO20022 移行について

外国送金の代表的な決済ネットワークである SWIFT(国際銀行間通信協会)では、外国送金に使用する電文について 2023 年 3 月 20 日より、従来の MT フォーマットから新たな MX フォーマット(ISO20022)へ順次移行しています。

SWIFT を利用する全ての金融機関は 2025 年 11 月までに新フォーマットへの移行を求められており、鳥取銀行でも新フォーマットへの対応を予定しております。

外国送金をご利用のお客さまにも影響が見込まれるため、ISO20022 の概要およびお客さまへの影響についてご案内いたします。

ISO20022 とは

- ISO20022 は金融通信メッセージの世界共通規格で、世界各国の国内決済においても採用されています
- 新フォーマットは MX 電文と呼ばれ、現在の MT 電文と比較してより多くの送金情報を送金電文上に含めることができます

電文フォーマットの主な変更点

- MT 電文は、人の目で識別することを想定し「フィールド」と呼ばれる入力欄に受取人名・住所・都市名・国名など複数の情報を入力しており、入力できる情報量も限られていました
- MX 電文はシステム処理を前提とした XML というコンピュータ言語に準拠したフォーマットで、「タグ」と呼ばれる記号で文字を囲むことでデータの内容を明確に記載することができます
文字数上限も大幅に拡張されており、送金に関する多くの情報を送信可能です
- 拡張性が高く、送金処理の効率化やシステム化が期待されます

従来のフォーマット(MT)	新フォーマット(MX)
:59:/ AAA COMPANY , BBB Street 111 受取人名 以下住所 TOTTORI , 6800868 , JAPAN	<pre><Cdtr> <Nm>AAA COMPANY</Nm> <PstlAdr> <StrNm> BBB Street 111</StrNm> <PstCd>6800868</PstCd> <TwnNm>TOTTORI</TwnNm> <Ctry>JP</Ctry> </PstlAdr> </Cdtr></pre>

被仕向送金への影響について

- 2023 年 3 月 20 日以降、一部の被仕向送金は MX 電文で受信しておりますが、SWIFT の定める変換ルールに則り MT 電文に変換したうえで、従来通りお客さま口座への入金を行っております
- 受信した MX 電文が MT 電文の入力上限を超える情報量であった場合、被仕向送金の到着案内に全ての送金情報を表示しきれない可能性があります

仕向送金への影響について

- 現在、当行では MX フォーマット (ISO20022) による送金受付の開始時期を検討中であり、改めてご案内いたします
- 当行の ISO20022 移行後は新フォーマットに準拠する形式 (送金依頼人、受取人の住所情報の構造化・細分化など) で外国送金データを作成いただく必要があります
移行準備が整い次第、変更点についてはご案内いたします